

令和4年度 第1回四万十市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和4年11月25日(金)
開会：午後3時00分 閉会：午後3時28分
- 2 場 所 市役所本庁舎 3階 防災対策室
- 3 出席者 四万十市長 中平 正宏
四万十市第一副市長 田能 浩二
四万十市教育長 久保 良高
四万十市教育委員会
町田 義彦、上村 賀予、川村 美佐里、亀谷 文裕
- | | | |
|---------|-------------------|-------|
| [事務局] | 総務課長 | 岡本 寿明 |
| | 総務課長補佐 | 有光 浩 |
| [教委事務局] | 学校教育課長 | 山崎 寿幸 |
| | 学校教育課長補佐 | 中脇 弘樹 |
| | 学校教育課指導主事 | 小野川 憲 |
| | 生涯学習課長補佐 | 安岡 栄治 |
| | 生涯学習課長補佐 | 梶原 秀紀 |
| | 文化複合施設整備推進室長 | 國見 理 |
| [傍 聴] | 学校教育課総務係長 | 浦田 真輝 |
| | 学校教育課学校教育係長 | 戸田 卓宏 |
| | 西土佐教育分室教育振興係長 | 上岡 弘一 |
| | 生涯学習課社会教育振興係長 | 川村 慎也 |
| | 生涯学習課公民館運営係長 | 竹内 美和 |
| | 文化複合施設整備推進室整備推進係長 | 植村 可鈴 |
- 4 議 題 (1) 第2期四万十市教育振興基本計画(四万十市教育大綱)の進捗について
(2) その他
- 5 議事の経過

(事務局：有光総務課長補佐)

定刻となりましたので、ただ今より、令和4年度第1回四万十市総合教育会議を開催い

たします。それでは、中平市長よろしく申し上げます。

(中平市長)

本日は、大変お忙しい中、ご参加いただきまして、本年度の第1回四万十市総合教育会議が開催されますことを、心よりお礼申し上げます。

教育委員会の皆さまには、日々、子どもたちの教育の充実・発展、健全育成や、社会教育の進展やスポーツ・文化の振興のためにご尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

今回は、会議次第にもありますとおり、「第2期四万十市教育振興基本計画の進捗について」、協議をお願いしたいと思います。

教育長以下教育委員会の皆様におかれましては、関連法に基づき、議会の承認も経て選任させていただいており、教育行政の執行機関として、教育施策の推進をお任せさせていただいているところでございます。

その施策の推進にあたっては、令和2年に定めた第2期四万十市教育振興基本計画に基づき執行しているということは私も存じておりますが、この計画の基本理念及び基本目標については、皆様もご存じのとおり、私が定めるべき本市の「教育大綱」に読み替えているものでもございますので、その進捗については私も折々に把握し、協議も行わなければなりません。折しも本日は、計画期間のほぼ中間地点となる時期でございます。このため本日は、同計画の進捗について報告を受け、協議を行いたいと考え、皆様をお招きさせて頂きました。

私も思うところを述べさせていただきますので、皆様におかれましても、忌憚のないご協議を頂ければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

それでは早速、議事の方に入りたいと思います。まずは、教育振興基本計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

(教委事務局：中脇学校教育課長補佐)

～ 会議資料に基づき教育振興基本計画の進捗状況について説明する。 ～

要旨：第2期四万十市教育振興基本計画の概要と令和3年度実績について説明。

令和3年度施策数は41施策、うち計画通り取り組めた施策は34施策、実施内容が計画より低水準もしくは未実施となった施策は7施策。41施策のうち、成果目標を定めた施策は25施策で、うち達成度Sは7施策、同Aは12施策、同Bは5施策、同Cは1施策。活動目標を定めた施策は16施策で、うち良い効果が得られた活動は12施策、活動の効果無又は影響良否不明は2施策。取組等達成度Cや成果目標達成度Sの施策について、詳細を報告。

(中平市長)

ありがとうございました。ただ今の説明について補足やご意見等ありましたらお願いします。

無いようですので私から一つ。今、行事等が新型コロナウイルスで中止になっている状況があるとの説明がありました。

ウルトラマラソンの場合については、コロナの方の理由もあったが、それと並行してボランティアの高齢化が進み、ボランティア数が根本的に不足しているというのも今回中止という大きな要因ですので、やはり今後については特にいろんな面で考えていかないといけないのではないかと思います。

特にまた、ここ2年半というもの、コロナの関係で学校でも不規則に臨時休校などが行われ、学校に常時登校できないといった状況もあったと思いますが、そこらの影響をどういう形に把握しているかちょっと教えてもらえればと思います。

(教委事務局：山崎学校教育課長)

まず令和2年3月から全国一斉の臨時休業という形で、5月の連休明けまで開業できないという形で新型コロナウイルス対策がスタートしてきました。その後1学期については何とか過ごしたのですが、また2学期以降に学級閉鎖や学年閉鎖という形で休業することもありました。

そういう事も踏まえながらいろいろと経験を積む中で学校等の努力もあり、感染予防対策をした中で一律に休むという事は少なくはなってきましたが、やはり家庭での感染も多い中、家族の方が感染すれば、当該児童生徒は学校登校を控えなければならないというような形もあり、感染症がまん延し、休みの子も増える中で、これまでのように全員で普段通り授業が受けられるという状況が少なくなっているというふうには思います。

子どもたちにおいては、今まで通りの学校生活が送れなかったという点で、体の負担だけでなく心の負担というのもいろいろあったこの2年半ではないかなというふうに考えます。

(中平市長)

特にオミクロン株はものすごく感染力が強くて、家族の誰かが感染すると、世帯全員が感染するといった感じがありました。

最近では、コロナの感染者が発生しても個人を特定するような風潮は無くなって、少しほっとしているのですが、当初は学校現場でもそういう風潮が懸念される場所もあったのでは無いかと思います。

今は社会的にもそんな風潮は無くなって、学校でも気にする必要は無くなっていると思いますが、いずれにしてもコロナ禍が様々な想定外のことを引き起こしていたので、特に学校現場は大変だったのではないかと思います。

特に教育委員会についても、学級閉鎖の判断等対応に苦勞されたと思います。早いうちに収まってくれればいいのですが、今日も県内で新規感染者が300人くらい発生しているのでしばらくは増加傾向にあるのではないかと思います。

状況も変わって来つつあり、国内産の薬もできたようなので、早いうちにそれらが一般の薬局に入るようになったら、コロナもインフルエンザのような感じになるのではないかなという思いはしています。

いずれにしましても、評価の低いB、Cの事業があるという説明もありましたが、コロナ禍が原因のものは、これはこれで仕方がないのではないかなという思いもありますので、引き続き検証を進めていっていただきますようお願いしたいと思います。

その他に何かご意見ございませんか。

(田能第一副市長)

意見という訳ではないですが、現状を知っておきたいところがありますので質問します。進捗状況確認シートの2ページの1の(7)、情報教育の推進にかかる部分の現状についてです。まず1つめとして、既に児童生徒に一人一台端末を貸与していると存じますが、コロナ禍の中で、これら端末を利用したリモートの授業であるとか、何らかの活用事例があれば、実際にどのような形で行われたのかをお聞きしたいです。といいますのも、以前家庭によってはネット環境が無く、リモート等の対応の際はどこかネットを利用できる施設を開放する等の話を聞いたことがありました。そういった現状について1点目として伺います。

次に、同項下段のプログラミング教育の充実について、外部に委託して授業等への支援を実施していると思いますけれども、それらの支援がどのように機能しているかという点です。といいますのも、このプログラミング教育は専門的な分野であり、なかなか先生がたの負担も大きいと思いますので、そういった専門機関の支援が十分機能しているのかを知りたいところです。以上2点について教えていただきたいです。

(教委事務局：中脇学校教育課長補佐)

それではまず1点目の、コロナ禍における端末の活用事例についてお答えさせていただきます。

まずリモートの授業につきましては、出席が停止となっている児童生徒に対し、学校の授業の様子を配信する形で、一部の学校で実施されました。ただし、授業者が端末越しの児童生徒と双方向でやり取りし、視聴すれば出席扱いとなるような形の、いわゆるオンライン授業という形では行えておりません。

最近の感染状況の中では、感染や濃厚接触が疑われる児童生徒が個別に休み、個別対応が必要となる形が主流であり、学校が一斉に長期休業となるケースがありませんので、オンライン授業の実施が必要となる状況にまで至らないという現状もあります。

オンライン授業を実施できる環境にするためには、授業者の方にも研修が必要となる等、様々な準備が必要で、まだこれからいろいろと考えていかなければならないところだとは思いますが。

なお本年度、新型コロナウイルス対策の臨時交付金により、現在本会議で使用している授業用のカメラとマイクを各校に整備しました。これにより、今後再度感染状況が悪化し、学校が臨時休業となった際に、リモートなりオンラインなりで授業を行う際、インフラ面においては一定の環境が整備されたというふうと考えているところでございます。

家庭のネットの問題につきましては、本年度アンケートを取っておりまして、一人一台端末で使用できるネット環境がある家庭は約9割という結果が出ています。

今の所、休んでいる間に教室の様子を見たいといった児童生徒の中に、ネットに繋がらないという子はたまたまいなかったというふう聞いておりますので、何とか事実上の問題は生じていませんが、実際に授業等をオンラインでやっていくという事になった時には、先ほど副市長の仰ったとおり一人一台端末をネットに接続できる拠点を用意することも考えなくてはなりません。

なお、コロナ対策として携帯式のWi-Fiルータを整備した自治体があることも把握しておりますが、どの自治体でも、常時使用するものでは無い中、不使用時の通信費が大きな負担となっているという問題も聞いておりますので、同じ方法を四万十市でとるのは難しいというふう考えている所でございます。

また、本市においては電子ドリルを導入しており、出席停止となった児童生徒の家庭学習に用いられたとも聞いております。これはオンライン・オフラインのどちらでも利用できるもので、家庭のネット接続環境の実態に合わせて用いられています。

コロナ禍における端末の活用事例については以上でございます。

(教委事務局：小野川指導主事)

プログラミング教育について簡単に説明をさせていただきたいと思えます。

小学校におけるプログラミング教育につきましては、学習指導要領においては、プログラミングの教材をそのまま使うだけでなく、プログラミング的思考を養うこととされており、教科書の中にその思考が盛り込まれています。実際のプログラミングの授業について、例えば小学校3年生の算数、小学校5年生の理科等では、端末を使用したプログラミングの実験であったり、Dマークという教材を使用したり、県の教科研究センターが貸し出すプログラミングサポート教材を使用したりしながら授業を行っています。

また、中学校につきましては、プログラミングを直接使用する項目が、技術科の中のプログラミング技術の制御の分野にありますので、この技術分野の授業の中でプログラミングを行っていくことになっています。

プログラミングの授業は、3学期に各校で1時間以上授業を行うこととしていますが、ここには専門業者がサポートをしてくれる予定になっています。

なお、専門業者とは、プログラミング教育への支援だけでなく、学校における ICT を利用した取り組み全般に対し支援を頂くこととして、令和 3 年度から委託契約を締結しています。

定期的な各校巡回やコールセンター設置により、随時相談できる体制を敷いたうえで、ICT 機器の授業での使用法の指導や相談、不具合対応等の支援を頂いており、日々教員では解決が困難なトラブルにも対応いただいていますので、支援は十分に機能しており、同業者は学校現場には欠かせない存在となっています。

(田能第一副市長)

現状がわかりました。説明ありがとうございます。

(中平市長)

ありがとうございました。他に何かありませんか。

(町田教育委員)

家庭にインターネット環境がない子どもたちは、今は端末持ち帰りの際、おそらくオフライン対応機能を活用して家庭学習をしているものと把握しています。

これらインターネットに接続できない子どもたちは、今後家庭学習でインターネットを利用したい際に何らかの支障を来すことにならないか心配しています。

少数ながらまだ自宅のネット環境が無い世帯もあるという現実を課題として捉え、どのように対応すべきか、例えば、教育のネット環境の平等性をどう考えるか、保護者負担はどうすべきかなど、これからも考えていかななくてはなりません。

(田能第一副市長)

まず市としましては、前年度、全地域への光回線の接続環境を整備しました。しかし、これらに接続するかどうかは各家庭の判断になります。ここには一定の料金も発生しますので、この費用をどうするかというような問題も出て来るでしょう。この基本料金を一定支援するというのも一つの方法でしょうし、先ほど話が出たように、無線ルータを貸し出すという方法も考えられます。それら個別の対応が困難ということになれば、やはり接続拠点の整備ということも手段になるのではないのでしょうか。

(町田教育委員)

そうですね。ありがとうございます。

(中平市長)

最近使われるようになりました、デジタル田園都市構想という名称につきましては、皆

さんも耳にしたことがあると思いますけれども、総務省所管の事業で、自治体のマイナンバーカードの申請率が70%以上となった際に様々な事業を実施できるという制度です。

9月時点で四万十市のカード申請率が68.4%でしたので、現在70%を超えているのではないかと思います。教育委員会でも使えるデジタル関係事業もあると思いますので、ご承知おきのうえ、有効活用の検討をお願いします。なお、この制度資料は企画広報課に渡していますので、必要に応じてご調整願います。

その他、ご意見等ございますでしょうか。

(中平市長)

他に特にないようでございますので、協議をまとめさせていただきます。

教育振興基本計画の進捗につきましては、本日の報告と皆様とのご協議により、おおむねのところを把握させていただきました。残る計画期間も、着実な施策推進を期待します。何とぞよろしく申し上げます。

(中平市長)

続きまして、その他の項に移ります。教育委員の皆さんから何かございませんか。

～ 「特に無し」と呼ぶ声あり ～

(中平市長)

特に無いということですので、本日予定されています協議事項は全て終了いたしました。それでは事務局のほうで進行をお願いします。

(事務局：有光総務課長補佐)

市長、進行ありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第1回四万十市総合教育会議は閉会とさせていただきます。ありがとうございました。